



すぎやま きよし 議員
新政会 杉山

農林業の振興

問 山武市農業構想実現に向けた事業展開について伺います。

答 産業振興部長 農地の大区画化などを行う圃場整備事業を松尾町八田地区で進めています。今後は構想期間(20年間)の中で、その時々ニーズに合わせて検討し、具現化していきます。

問 営農の効率化や収益性向上の一環として、生分解性マルチ導入に係る助成事業を行う考えはあるのか伺います。

答 産業振興部長 市独自の助成は困難であるため、国または県の事業を案内するなど、支援していきます。

問 山武市森林づくりマスタープランに基づく、令和6年度の新たな取組状況を伺います。

答 産業振興部長 木育推進事業として実施した「森林環境プログラム」では、令和6年度から市内すべての小学3年生、小学5年生、中学1年生に対象を拡大し、日向の森を活用した環

境学習を実施しています。

問 市内における森林経営計画制度の活用状況を伺います。

答 産業振興部長 市内で活動している3事業者が、この制度を活用し計画的な森林整備を進めています。

山武地域のまちづくり

問 (仮称)山武パーキングエリアにおいて、市のPR活動などを実施できる見込みなのか伺います。

答 総合政策部長 NEXCO東日本に対し、市内産品のPRや販売など、地域振興・観光客誘致に繋がるイベント広場等の設置を要望しています。また、一般道からのウォークインゲートやイベント出店者の搬入口等の設置も併せて要望しています。

問 パーキングエリア周辺の開発として工業団地を造る考えはあるのか伺います。

答 総合政策部長 莫大な予算がかかるため、市主体の開発は想定していませんが、民間開発の可能性を探るため、新たな産業用地の可能性調査を実施する予定です。また、スマートインターチェンジは接道の関係や交通需要の状況を踏まえ検討していきます。
【その他の質問】▼消防団の現状▼地下水等の水質保全▼公共施設等のファシリティマネジメント▼庁内のコンプライアンス



すずき けんたろう 議員
新政会 鈴木 健太郎

公有財産の活用

問 公有財産活用の一つであるファシリティマネジメントの一環として、立地条件が優れている物件や有望な資産があれば、官民連携の事業展開や民間への賃貸などに有効活用すべきと考えますが、見解を伺います。

答 総合政策部長 公共施設の有効活用は、まず学校跡地の利活用事業が挙げられ、2校を民間へ貸し出しているほか、旧山武西小学校では、民間利活用の候補者が決まったところですが、学校跡地以外の未利用の公有財産についても、本市のまちづくりの方向性を踏まえたうえで有効的な利活用を検討したいと考えています。

問 成田空港周辺の他自治体では、空港の機能強化に伴う雇用増加を見越し、公有地を活用した子育て世代への町営住宅事業を展開しています。本市における今後の資産活用について、具体的な計画があれば伺います。

答 総合政策部長 施設等の統廃合を行い、公共資産の効率化および合理化を図ることを最優先としています。そのうえで、余剰資産が発生する際に、資産の活用方法を検討していきます。

行政のコンプライアンス

問 市職員によるコンプライアンス違反の疑いが発生した場合の報告・連絡・相談の体制等について伺います。

答 総務部長 組織的な対応としては、総務課へ報告・連絡・相談をすることとされており、同課行政係が「法務」、同課職員係が「人事」をそれぞれ担当しています。

また、公益通報制度による職員からの内部通報として「山武市職員等の公益通報に関する要綱」を策定・周知しており、この要綱に基づいた仕組みが整っています。

問 コンプライアンスに関する部署、または、随時対応する委員会の設置予定はあるのか伺います。

答 総務部長 どのような危機管理体制を整備していくのかを検討した結果、事務誤りなどのリスクに対する情報共有を図るため、市の最高決定機関である庁議に諮る旨を提案し、本年2月の庁議にて、その方向性の了承を得たところです。今後、本年4月から運用開始に向け、詳細を詰めていきます。



施設園芸農業への支援

問 近年、地球温暖化等の影響により作物の高温障害が発生しており、特に、施設園芸では、高温に起因したウイルスに感染した病害虫による被害が拡大していますが、高温対策や病害虫対策の支援について伺います。

答 産業振興部長 高温対策支援として、令和7年度と令和8年度の2か年において、資材を導入した農業者を対象に、経費の一部を助成する予算を計上しています。補助率は、高温対策にかかる事業費の3分の1を考えています。限られた予算の中での新規事業となるため、まずは高温対策に重点を置いた支援を行っていきます。

防災機能の強化

問 さんぶの森公園周辺地域の防災機能の強化について伺います。

答 総務部長 地震・津波発生時の避難所として、さんぶの森公園周辺

地域を含む防災拠点の果たす役割は大きいと考えており、当該公園周辺地域を優先して整備したいと考えます。

旧山武西小学校の跡地利用

問 旧山武西小学校の跡地利用について、現在の状況を伺います。

答 総合政策部長 体育館は、令和6年3月に、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」のアカデミー部と連携協定を締結し、小学生向けのバスケットボールスクール校活動場所として貸し出しています。なお、令和6年度に利活用事業者を公募した結果、団体向け宿泊事業を中心に提案された事業者を優先交渉権者に決定しました。

問 優先交渉権は宿泊事業が中心とのことですが、旧山武西小学校のグラウンドで毎年行われている地元のお祭りや、教室を会議室として貸し出すことは可能なのか、また、校舎の空き教室をインキュベーション施設として事業者育成に役立てることは可能か、併せて伺います。

答 総合政策部長 地元のお祭りについては、公募の段階において配慮される事項に挙げており、優先交渉権者に認識されています。あらかじめ日時を指定することで、グラウンドや会議室等の使用が可能になると考えています。
【その他の質問】▼地下水の水質保全
▼県道成東酒々井線の整備



消防団について

問 市消防団員の条例定数840人に対し、実数は774人(充足率92・1%)とのことですが、防災力の維持に向けた団員確保の取組を伺います。

答 総務部長 令和5年度から団員報酬を年額2万4000円から3万6500円に改正しました。

また、消防団員の負担軽減対策として、形式的な行事の見直しや、操法訓練から、より実践的な訓練への移行を協議しているほか、事務的負担軽減としては、出動報告のオンライン化等の準備を進めています。

問 令和6年度に改正された出動報酬の詳細を伺います。

答 総務部長 消防団各部への支給から、団員個人への支給に改め、一人あたりの支給額として、災害出動が4時間以上の場合8000円、2時間以上4時間未満は4000円、2時間未満は2000円、訓練等への参加

は4時間以上で4000円、4時間未満で2000円とし、出動時間に応じた報酬を支給しています。

問 令和6年度における出動報酬の実績を伺います。

答 総務部長 令和7年1月末時点で訓練を含めた延べ出動人員は3747人となり、出動報酬の合計額が約899万円(前年度は約641万円)となっています。

東消防署建設工事

問 東消防署建設工事の進捗状況を伺います。

答 総務部長 追加工事について受発注者間の協議が解決せず、令和5年8月下旬から工事が休止状態となりました。その後も当事者間で協議を継続しましたが、合意には至らず、令和6年1月31日に山武郡市広域行政組合が契約解除を通知しています。

このような状況から、令和6年2月下旬に、工事受注者が本件の紛争解決に向け、千葉県建設工事紛争審査会に調停を申請し、現在も審理が進行中であると、山武郡市広域行政組合消防本部から聞いています。

問 東消防署の建設予定地に変更はないか伺います。

答 総務部長 山武郡市広域行政組合消防本部に確認したところ、変更はないとのこと。